

〔正伯塾〕

記入日：平成 28 年 3 月 13 日

【団体の概要】

平成 26 年 2 月に設立し、世代を超えた住民の交流をめざし、以下の活動をしています。

- ・地域学＝船橋周辺地域の歴史・文化・産業の調査研究。当面、歴史事象の習得、地域の調査・研究します
- ・丹羽正伯の広報活動＝街活事業推進
- ・スマホ・携帯電話の使い方を、中高大生がシニアに教える等



【第 13 回ふなばし郷土史講座】

＜事業報告＞ 【支援金確定額：147,490 円 支援率：56.6%】

■実施した事業の内容

市内の歴史事象を小青壮年層に引き継ぎ、市民の知見を向上し貯蔵するとともに、世代間の交流を図るため、「船橋郷土史講座」を実施しました。

講座は毎月 1 回、合計 12 回開催し、延べ 402 名もの方にご来場をいただきました。基本的には薬円台自治会館を会場として使用しましたが、6 月 18 日は「一周年記念講演会」として薬円台公民館の講堂を使用しました。

講座では、専任講師として滝口昭二先生を招聘し、渾身の講演をいただきました。支援金で設備させていただいた「プロジェクター」は想像以上の効果をもたらしました。参加者は、大部分の方が高齢者になりましたが、これまでのペーパーによる文字のみの講演・解説では得られない、ビジュアルに大型の画面によって、効果的なわかり易い講座になりました。そのためか、講座終了後の活発な質問、それから発展してゆく風論談論は時として有意義な時間でもありました。

■支援金の支出内容

- ・備品費—プロジェクター、スクリーン
「プロジェクター」の導入は、過去の講演会等になかった変容をもたらしました。
- ・報償費—講師への謝金
- ・消耗品費及び原材料費—事務用品やチラシ印刷用のインク、用紙等
- ・印刷製本費—チラシの印刷製版、資料等のコピー代
- ・通信費—講師への連絡、資料送付等のため切手代
- ・使用料—薬円台自治会館および薬円台公民館の使用料



日本で最初にチューリップを植えた御滝花園。
現在は、シクラメンのかほりいっぱいです。

■事業の成果と今後の展望

世代交流事業に向かい徐々に進めていこうと思います。まずは「ふなばし学」です。綿貫先生をメインとし、船橋の縄文弥生から古墳時代を文化課や飛ノ台史跡公園博物館のご協力も得、更に、農業家、漁業家、Shirase の方、県博物館の方等々盛沢山の内容を予定しています。また、たまには都内から船橋をみようという意識で、9 月には、上野寛永寺・東照宮(内部閲覧)予定です。経済成長以上に、文化度の向上が問われます。大都市周辺の都市は、互いに有機的関係にあります。豊かな未来となる様頑張ります。ご期待ください。

■問い合わせ先：代表 奥田 健造 (おくだ けんぞう)

TEL : 080-4009-1192

E-mail: : bzk-11772@nifty.com